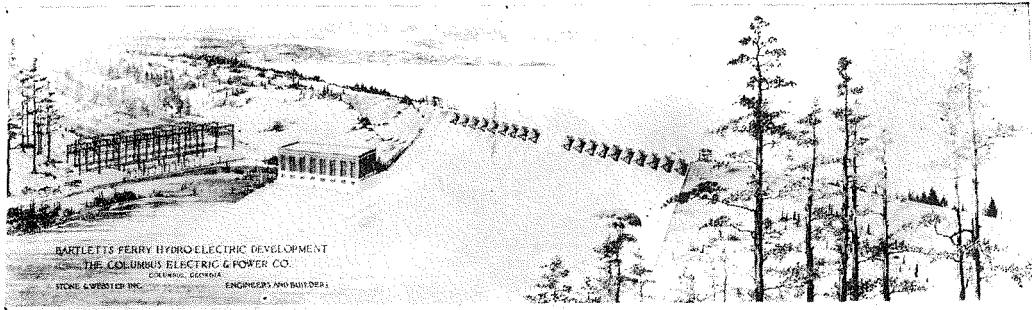


バートレット水力發電所全景



(1) General View of Bartlett's Ferry Hydro-Electric Development, the Columbus Electric Power Co.

バートレット水力發電所

世界的の請負業者

ストーン・ウエスターの工事振り一端

日本で言はゞ大林とか、大倉とか、清水組とかを合併した様な一流の米國の請負業ストーン・エンド・ウエスター會社の工事振りは米國を視察した日本の斯業者の一度は必ず見學する處である。放膽な設備と巧妙なる施工法は實に手に入つたものである。此の寫眞を注意して見れば覺る處が相當にある。(編者)

米國ジョージア洲コロブス市より約十八哩チャッタフーチー河の上流バートレット、フェリーに於ける水力電気工事は、有名なるストーン・エンド・ウエスター會社の手でコロブス電力株式會社の爲め建設されつゝあるもので、第一工事の竣工後の發電馬力は四萬四千馬力であるが、將來は八萬八千馬力の計畫である。

堰堤の延長約二千呎、高さ(ベースより頂上の歩道迄)百四十五呎である。混凝土スピルウェイ延長六百三十四呎、水門幅二十五呎拾九個を取つても土堤防迄四本のサイホンに充分餘地がある。このサイホンは湯水時期に貯水池の水を自動的に調整する爲めの設備である。堰堤の頂上より三十呎高き歩道の上にギヤントリー、クレーン二臺据付け夫々の水門を上下させる設備がある。土堤防ミスピル

ウェイの接續せる部分には土留めの爲め高きウイング壁を造つた。貯水池の長さ十哩で、其の面積は二千六百五十町歩ある。

鐵管路は約三百呎で、直徑各十五呎のリベット付鋼鐵板である。取入口は四個であるが、必要に應じ、五個にされる様設計が出来てゐる。幅十六呎、高さ二十呎の重大なる鐵門四個は各自上下出来る様、取入構造物の上に別々にホイストを設置してある。

發電所は鐵筋混凝土基礎の上に建てられた煉瓦造である。水車ケーシング、壓搾油ガバナ、及び發電機冷却用通路は本床の下にある。本床は二分され、下流側は發電機室で屋根まで天井なし、他の部分はスイッチング及び管理室で、張出し窓を使用し、發電室の運轉床を見下す様に造られてゐる。一方の壁は一時的のもので外觀には變りがないが、増